

兄もこうい 死に方だった のか……

城 大福 (89歳)
(堺市南区)

私の戦争時代は、小学校の5、6年生だったころだ。7歳上の兄はもともと体が弱く、19歳で戦争にとられ、満州に行き、その後「戦死」の報告が来て、20歳という若さで逝った。

そのころ、和歌山市から父方の親類を頼り、疎開していた。その後、母方の堺市(美木多)に住み着いた。

当時、食べるものが何一つなく、田畑もなかった。食糧不足は、本当に苦労した。その時に思ったことは、「自分の子どもには、こんなひどい思いは、絶対にさせたくない!」だ。

学校では男先生が戦争に駆り出され、先生がおらず、勉強したくてもできなかった。そのため、代用教員(女先生)が学校に配置されたが、教科書の勉強ではなく、野外授業で戦闘機の燃料に使う松脂(まつやに)を採りに、毎日毎日明けても暮れても、父鬼(ちちおに(和泉市))の山の断

戦争体験手記募集を見て、お寄せいただいた手記を順次掲載しています。

寄稿 私の戦争体験 (57)



崖絶壁を登らされた。今思うと、「こんな松脂で飛行機が飛ぶ?」と思うが、その時は先生を信じ切っており、必死で採取した。

終戦を迎え、兵隊がみんな帰還する中、「兄の戦死のこともっと知りたい」と、知り合いを辿りたどって、「満州の療養所で、かなり体が弱り、動けない状態になったお兄さんと会った」と教えてくれる人がいた。

しかし、その療養所も敵からの爆撃を幾度も受けており、傷も軽い人は逃げられたが、兄のように動けないほど弱っている人は、逃げられる状態ではなく、そんな人は「毒殺」されたと聞いた。のちに「赤旗新聞」でも満州でそういうことがなされたと、当時の看護師の証言記として掲載されているのを読み、「たぶん兄も、こういう死に方だったんだろうなあ」とショックだった。

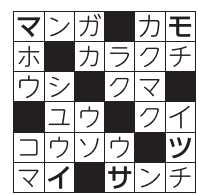
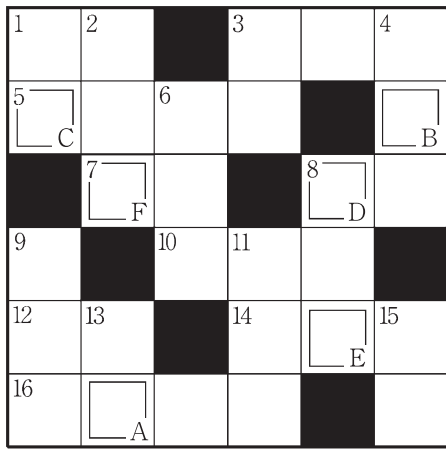
※「マイサービスともうず泉北」で作成した「戦争体験記」より転載

お楽しみクイズ クロスワードパズル

●応募方法/郵便ハガキにクイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・友の会に対するご意見等を記入のうえ、〒590-0821 堺市堺区大仙西町6丁184-1 友の会事務局「お楽しみクイズ」係あてに郵送か、FAX(072-244-7860)、下のQRコードで取得できるメール(tomo-kenkou@mimihara.or.jp)で。しめきり/2023年1月11日(水)消印有効 ●当選発表/厳正なる抽選の上、10人のかたに賞品(図書カード500円分)を。賞品の発送をもって発表に替えさせていただきます。 ●クロスワードパズル解答はがきに書かれた「ご意見」は、紙面に掲載させていただきます。ご了承ください。



カギを解き、二重ワクに入る文字をABC順に並べてできる言葉は何?



●10月号の答「サツマイモ(さつまいも)」 ●応募数/138通 ●正解者数/136人

- ① にもかけない(問題にしない) ② 青息 ③ 物を収めておく小屋 ④ 薄荷 ⑤ 外国産の車 ⑥ 淑女のみなさま ⑦ 銀銅メダル ⑧ 木、銅、石などの板を彫り刷った絵 ⑨ 衝突事故で車が ⑩ 平和の鳥 ⑪ 前にあったことを思い浮かべる ⑫ 漁火輝く ⑬ 地獄の沙汰も ⑭ 手洗いと ⑮ 家族が普段いる部屋 ⑯ 羽子板を使う正月遊び

短歌

「接種券 一緒に届けて 弁当」のんきな息子 心配な親 小田 順平

俳句

闇夜出で オペラグラスに スバル舞う 神木の 洞まで遠し 穴まどひ 遠い日や ふかふか蒸した さつま芋 吉田 朋子 高野 純 松永 直子

川柳

手持ち減り 年金目減り 物価高 忘年会 幹事は悩む 8波来る? 何か変 雑踏事故が 物語る 窓口二倍 あとの薬も 二倍だよ 宮崎金次郎 堀西 和子 古賀 光政 堺谷九条男

水句を詠む時の情景や思いもお寄せください。 *俳句・短歌・川柳の次回締め切りは、2023年1月11日(水)です。 *特に、俳句・短歌のご応募お待ちしております。

私のおすすすめ! 簡単レシピ

えのきと貝割れのおひたし (調理時間3分)

- 〈材料〉(3人分)
- えのき……………1袋
 - 貝割れ……………1パック
 - だし汁……………大さじ2
 - 薄口しょうゆ…大さじ2
 - みりん……………小さじ1
 - (あれば、大根おろし……………大さじ2)



〈作り方〉

- えのき・貝割れの根を落とす。
- 沸騰した湯に入れ、15秒程度ゆでる。
- 水にとって水気を切る。
- (A)である(めんつゆでもOK)。

〈西村 幸恵さん(西区上)のレシピ〉 簡単に美味しいレシピをご紹介します。 材料と作り方(3行程程度、写真(あれば)とおすすポイントを書いて送ってください。 採用者には、図書カード(500円)をお贈りします。

戦争体験をお寄せください

戦争を知らない世代に平和を受け継いでいくために、「戦争体験」を募集しています。これまで多くの「戦争体験」が寄せられ、命の危険にさらされたことや空襲の恐ろしさを伝えた貴重なお話に、多くの反響があります。ぜひ読者の皆さんの戦争体験をお寄せください。字数の指定はありません。より多くの方からの投稿をお待ちしています。(編集委員会)

編集後記

新型コロナののに、大阪府の長は府民のいのち・くらしを守るより、万博・カジノ・自分の党の選挙応援が最優先。来春の統一地方選では、安心して暮らせる大阪を(明)

「とも」「同仁会報」は、ホームページでご覧いただけます。下のQRコードを読み取ってください。



◀ 社会医療法人同仁会「同仁会報みみはら」 http://www.mimihara.or.jp/mimihara.html



◀ 健康友の会みみはら一機関紙「とも」 http://www.mimihara.or.jp/tomo.html